

●業務の履行確認

区分	確認事項	履行状況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用が行われている。 ②適切な運用が行われている。 ③ホームページ、広報誌、各種情報誌、ラジオ、SNSなどを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を推進している。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聞いて、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①参加・参画の促進 ～市民一人ひとり、誰もが主役の場づくり～ ②文化芸術を担う人材の育成、顕彰 ～人づくりと活躍の場づくり～ ③文化芸術施設の充実 ～誰もが使いやすい拠点づくり～ ④文化財・伝統文化の継承や活用 ～「岐阜」を伝える絆づくり～ ⑤文化芸術を生かしたまちの活性化 ～活力に溢れた地域づくり～ ⑥協働による文化芸術の推進 ～みんなで文化芸術を育てる社会づくり～	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①「ハートフルレクチャー」2講座開催、153人受講。各種団体(岐阜市立女子短期大学など)との連携講座3講座開催、171人受講。国際講座1講座開催、53人受講。ITコラボレーター会と協働のパソコン講座第3、4期開催、144人受講。 ②市民講師養成事業2講座開催、157人受講。市民講師ステップアップ講座2講座開催、48人受講。ボランティア講座1講座開催、37人受講。市民自主講座19講座開催、延べ953人受講。R8年度市民自主講座開設希望者説明会3回開催、63人参加。 ③「ハートフルフェスタ」を開催。にぎわい創出事業7公演開催。生涯学習・社会教育関連施設職員のための研修講座1講座開催、13人参加。生涯学習・ボランティア通信誌の発行(Vol.101、102) ④市民活動ルームを運営(延べ2,166人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(685件の相談、65件のボランティアコーディネート)。広報誌「ボランティア通信」6回掲載。 2. 男女共同参画推進業務 ①「わたしも輝く! 女性のエンパワーメント講座、男女共同参画セミナー、心とからだ・性の健康関連講座」の3事業を実施し、延べ149人受講。 ②インスタグラム、Xによる情報発信、また「女性に対する暴力をなくす運動」、「児童虐待防止推進キャンペーン月間」や「国際女性デー及び女性の健康週間」に合わせたパネル展示等を実施。男女共同参画情報誌「織」を発行。 ③ハートフルネットぎふ例会を4回実施。交流イベントとしてハートフルフェスタを実施、ワークショップ・展示等で4,612人参加。 ④専門相談を実施、延べ相談件数467件(面接相談:153件、電話相談:314件)。あんしんつながりステーションを開設、延べ相談件数112件(面接相談:107件、メール相談:5件) 3. 市民芸術文化振興業務 ・岐阜市民文化祭の開催【①、②、③、④】 中心市街地にあるぎふメディアコスモス、文化センター等の施設にて、芸術祭(5部門、35公演、出演者667人)、美術展覧会(7部門、入賞入選324点)、文芸祭(一般:9部門、入選入賞366点/小中:6部門、入選入賞299点)を開催した。 ・岐阜市芸術文化協会との連携【①、②、④、⑥】 リレートーク(下半期1回)、ましかどコンサート(下半期2回)の開催、広報誌の発行(11月、3月)。 ・文化事業助成(岐阜市民芸術文化・スポーツ基金)【②、⑤、⑥】 下期は9件を選定し助成した。 ・岐阜市芸術文化奨励賞【②、⑥】 岐阜市芸術文化奨励賞を2組に授与した。
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) “(16・13項目)(年2回) “(12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回) 定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備(総合)保守点検(年2回) ④空調設備(GHP)保守点検(年1回) ⑤自動扉保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回) ⑧パソコン及び周辺機器保守点検(年4回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①2/24に実施 ②11/19、1/21、3/18に実施 ③毎週水曜日に実施 1/27に実施 上半期に実施 ④1/21に実施 ⑤2/24に実施 ⑥3/13～27に実施 ⑦11/26、1/21、3/25に実施 ⑧10/28に実施 ⑨2/24に実施 ⑩2/24に実施 ⑪2/24に実施 定期点検業務 ①保全点検:10/28、1/27に実施 リモート点検:毎月実施 ②10/28、11/25、12/23、1/27、2/24、3/31に実施 ③11/25に実施 ④上半期に実施 ⑤12/23、3/31に実施 ⑥12/23に実施 ⑦11/25、3/24に実施 ⑧10/28、11/25、12/23、1/27に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応など、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①個人情報に関する法律及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規定により適切に実施されている。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなどを行っている。 ③関係法令を順守し、運営されている。

●利用者評価

<p>利用者アンケートの実施状況</p>	<p>実施期間:10/15～21、11/8～14、12/3～9、1/5～11、2/12～18、3/3～9 アンケート総数:303件</p>
<p>利用者アンケートの実施結果</p>	<p>○利用した部屋は 大研修室 6.6%、中研修室 6.9%、研修室50 6.3%、研修室30 8.3%、小研修室1 14.5%、小研修室2 12.5%、小研修室3 10.6%、小研修室4 8.6%、和室研修室1 3.3%、和室研修室2 5.9%、音楽スタジオ大 4.6%、音楽スタジオ小1 4.3%、音楽スタジオ小2 2.0%、クラブ室 5.3%、パソコンルーム 0.3%</p> <p>○スタッフの対応について 満足 78.5%、やや満足 14.2%、ふつう 7.3%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p> <p>○施設や設備の管理状況(整理整頓、壊れた個所の有無など) 満足 72.6%、やや満足 18.8%、ふつう 7.6%、やや不満 1.0%、不満 0.0%</p> <p>○全体的な満足度 満足 73.6%、やや満足 20.1%、ふつう 6.3%、やや不満 0.0%、不満 0.0%</p>
<p>利用者からの要望・苦情と対処・改善</p>	<p>・イスがガタついたのでスタッフの方に連絡します。(音楽スタジオ大) →早速、椅子の再点検を行い不良箇所は職員が簡易修繕しました。 今後、施設備品の点検を強化していきます。</p> <p>・DVDの使用が可になるとよい。(研修室30) →貸出用のDVDプレーヤーを用意しています。プロジェクター等と同様に事前に備品の予約も受け付けていますのでお申し出ください。</p> <p>・掃除の際、道具を載せたキャスターが移動しますが、セミナー中にガラガラとうるさいです。静音のタイヤに交換する等の対応をお願いします。(中研修室) →早速、清掃業者に伝え、研修中のワゴンの移動はできる限り少なくするよう改善します。</p> <p>・ホワイトボードマーカーの細いのも貸して頂けると嬉しいです。太いものは字がにじんでしまい使いづらいです。(研修室30) →貸出用ホワイトボードマーカーは、部屋の広さに応じて中字または太字のマーカーを用意しています。ご希望であれば、細いマーカーを別途貸出することが可能ですので、受付でお申し出ください。</p> <p>・ホワイトボードが壊れていて、少し不便に思いました。(小研修室2) →現在ホワイトボードの回転が出来るよう修繕部品を探し、今後対応いたします。(ホワイトボードの入替を予定しておりますので、暫くおまちください。)</p> <p>・マイクがもう1本欲しいです。有線マイクのコードが短い。(大研修室) →大研修室では、有線マイク2本、ワイヤレスマイク2本をご利用いただけます。 なお、マイクコードは受付でお渡しする3mだけでなく、ミキサー台の上に10mのものを常設しています。必要に応じてご利用ください。</p> <p>・鏡があれば嬉しいです。(音楽スタジオ大) →早速、施設内で検討します。 今後も、皆さまが快適に施設を利用できるよう努めて参ります。</p>

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区分	選定基準	評価項目	具体的な業務要求水準	評価		
				指定管理者	所管課	評価委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	A	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能（アンケート）等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	S	S	S
		区分評価			A	
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用（設置目的）を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	S	S
		男女共同参画業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	S	S
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	S	S	S
		市民芸術文化振興業務を行っている上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	A	A	A
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	S	S	S
施設の効用（設置目的）を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	A	A	A		
区分評価			S			
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の削減が図られるものであること	管理経費削減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく乖離していないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、閉館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	A	A	A
		区分評価			A	
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ（採用予定者も含む）の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか	S	S	S
		リスクへの対応方策（利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど）	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができていないか ・また、個人情報保護等法令遵守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っている上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民協働生活部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
		区分評価			A	
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域（以下「地元」という。）の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエア―G内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	S	S
		区分評価			A	

●指定管理者の取組みに対する自己評価

<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>●生涯学習／女性／センター</p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び市の方針に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設の運営・管理と事業展開を行った。</p>
	<p><施設管理></p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者からの要望等を基に、改善できるところはないか検討し、以下のような改善を図った。 <ul style="list-style-type: none"> □ 音楽スタジオ 各種設備・備品のメンテナンスの強化 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽スタジオの稼働率が上がったことに伴い、機材の不調も増えている。定期的なメンテナンスを実施するとともに、不具合が続き、修繕不能なベースアンプおよびギターアンプを新たに購入し、快適に利用できる環境を整備した。(メンテナンス2回、ピアノ調律2回) □ 研修室用備品の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・R6年度上期に研修室30、小研修室1・2・3・4を対象とした貸出備品として持ち運び可能な無線アクセスポイントを整備したが、利用者からの要望が多いことから1台追加した。 ・大研修室の映像出力画面として前方スクリーンの他に左右モニターをそろえているが、利用者からモニターを自由に移動したいという要望が多いため、配線ケーブルが不要となるワイヤレスHDMIエクステンダーを導入した。 ・大研修室のマイクシステムは、アナログ信号方式であるため周辺施設や駅前イベント時に混信が多発し、利用に支障が出ていたことから、混信が発生しにくい、デジタル信号方式のマイクシステムを導入した。 □ 交流サロンマイク設備の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・交流サロンでステージ発表等を行う際のマイク設備として、ハンズフリーで自由に動けるピンマイクの要望が多くあがっていたことから、新たに整備した。 ・光熱水料費が高騰する中、利用者への協力を求め、無理のない範囲内で、日常的に省エネ対策に取り組んだ。 <ul style="list-style-type: none"> □ 電気設備：下半期使用量 278,194kWh(昨年度比97.6%) 必要のない場所をこまめに消灯した。 契約電力を抑えるため、機械換気の起動時間を分散化し、特定の時間帯に電力消費が集中することを避けた。 □ 空調(ガス)設備：下半期使用量 21,175㎡(昨年度比 80.2%) より効率的に共有スペースを冷やしたり、暖めたりすることができるよう、過去の経験に基づき、その日の外気温に合わせて設定温度の変更や間引き運転を実施した。 ・公共施設予約システムのリニューアルに伴い、事前の操作検証やデータ移行等を確実に実施するとともに、導入後は操作方法がわからないという利用者からの問い合わせに対して一人一人丁寧に対応した。 ・利用者の安全・安心を最優先とした上で、業務の効率化や調達コストの最適化、省エネ対策推進を図り、可能な限り経費縮減に努めた。 ・各種安全マニュアルに基づき、安全・安心な施設運営に努めた。今期も事故等が発生した際は、生涯学習センターに情報を集約し、全館一丸となって迅速に対応した。 <p><リスク対応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年2月に発生した転落事故や令和7年7月に発生した駐車場入庫口での衝突事故を受け、今期は事故発生時の初期対応の中で応急処置の対応を強化するため、館内で発生した事故・事件の情報集約の役割をもつ生涯学習センター職員を対象に、職員研修「普通救命講習」を実施した。 その他にも、全館で避難訓練・緊急地震速報対応訓練を実施し、緊急時における迅速・的確な応急処置・緊急連絡・緊急要請を行うための役割や対応について再確認を行い、いざという時に対応できる体制を整えた。 □上記のとおり体制を整えたことにより、事故発生時には、迅速・的確な対応をとることができた。 【対応事例】 ・1階自由通路での意識喪失者の対応・救急要請 ・館内外でのケガ・体調不良者への対応 他 ・1月から連続してトイレ部品の窃盗事故が発生した。予防策として、ハートフルスクエアG全4施設で情報共有をするのと同時に、警備員や職員による館内巡回を強化した。さらに、取り外しても支障のない部品を撤去する、撤去ができないものは簡単に取り外せない工夫をするなど、考え得る対策を講じた。 ・館内で発生した不審者情報や迷惑行為等をハートフルスクエアG全4施設で共有し、防犯カメラでの監視や警備員や職員の巡回に加え、警察とも連携を図ることで防犯対策を強化した。 □ハートフルスクエアG全体での情報共有のもと、下記のような事例に対応した。 【対応事例】 ・トイレ部品の盗難 ・女性センターを中傷するような落書き等 ・大声で怒鳴る/暴言を吐く等の迷惑行為 ・自由通路での喫煙等 ・便器へ異物の投入 他 ・新たに1名が防火管理者講習を受講し、館内の火災予防および安全管理強化を図った。(講習修了者4名在籍) ・危機管理の上で、係長以上の職員を必ず1人は配置し緊急事態に備えた。 ・岐阜市帰宅困難者対策検討会議に出席し、関係機関・施設の抱える課題を共有するとともに、今後の市のマニュアル改訂に向け協力した。 ・当館が帰宅困難者の一時滞在施設であることから、防災士の資格を持つ職員が、市社会福祉協議会主催の災害ボランティアセンター立上げ訓練に参加し、当館独自の帰宅困難者対応マニュアルの見直しに役立てた。 ・個人情報保護・情報セキュリティ研修を受け、個人情報保護担当者を配置し、情報漏えいや不適切な情報発信が起きないよう個人情報管理の徹底を図った。 ・暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、反社会勢力に対しての姿勢を示した。

今期の取組み
に対する評価

<その他>

- 生涯学習/女性/センターの主催講座及び市民自主講座、文化振興事業は、岐阜市の「長良川大学」講座に位置づけられており、令和7年度下半期には生涯学習：23講座、市民自主講座：19講座、女性センター：3講座、文化振興事業：1講座・20公演・3事業を実施した。
- 多様な場面において、積極的に関係機関・団体との連携を図った。
 - 【他施設で実施】
 - 周辺施設である昭和コンクリート駅西駐車場の掲示板を活用した広報（主催事業ポスター掲示）
 - 隣接するASTY岐阜との広報協力（主催事業ポスター・チラシ設置）
 - 市内施設（本庁舎、ドリームシアター岐阜、各青少年会館、コミュニティセンター等）での芸文祭の各部門上位3賞の作品展示
 - 【当館で実施】
 - 市民文化祭 PRブースの設置（PR動画専用モニター設置、ポスター掲示、パンフレット等配架）
 - 岐阜市民芸術祭 洋舞の部「GIFUダンスフェスティバル2025」プレイベントの開催
 - 岐阜市文化財保護課「令和7年度 史跡 岐阜城跡・鷺山市場遺跡発掘調査オンライン説明会」ハートフルスクエアGサテライト会場の設置
 - JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会 展示「花で彩るクリスマス」、ワークショップ「花育イベント」の開催
 - 岐阜県華道連盟 展示「第75回 岐阜県華道連盟 いけ花展」の開催
 - 岐阜市人権センター 岐阜市人権尊重推進強化月間に関する啓発展示（パネル展示・動画）
 - 岐阜市保健予防課「フレコンセプションケア」に関する啓発展示
 - 岐阜市保健所地域保健課 自殺対策強化月間に関する啓発掲示（ポスター掲示、パンフレット等配架） 他多数
- 館内のにぎわい創出の一環として、中央階段前の吹き抜け部分に季節やイベントに合わせた装飾を行った。
- 他都市からの視察を受け入れ、岐阜市の生涯学習拠点施設としての事業運営、あんしんつながりステーションの開設について説明をするとともに、抱える課題などの意見交換を行った。
- SNS（Instagram、X、岐阜市公式LINE）を活用したイベント紹介や展示紹介等を積極的に行い、タイムリーな情報発信に努めた。
- 快適な公共空間を提供するためアダプト・プログラムに参加し、ハートフルスクエアG全体で施設周辺の美化に努めた。

<実施事業>

●生涯学習センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術推進基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、岐阜市における生涯学習の啓発・推進に努めた。生涯学習センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。なお、生涯学習、文化振興各係の講座は「長良川大学」講座として実施した。

◇生涯学習係

「令和7年度事業計画書」「第3次岐阜市生涯学習基本計画」に基づいた業務を遂行するにあたり、「学習機会の充実」「人材育成」「生涯学習拠点施設としての機能の充実」「生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援」の4項目を柱に、下半期は「地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成」を中心に、多種多様な学びの機会創出と学習者自身の学ぶ姿勢に合わせた弾力的な講座・事業運営に注力し取り組んだ。

□ 話題性のあるテーマや地域性を活かした講座を企画・実施

- 例：11月 健康・室内インテリア →「緑と健康～身近な室内空間の植物による癒し～」
12月 健康・和食 →「世界が注目する和食の知恵～日本の食文化とわたしたちの健康を科学する～」
2月 数学×アート →「エッ！なにこれ？どうなってるの！～数学で創る立体錯視のアートな世界～」
2月 コーヒー →「楽しく学んで、コーヒーにひたろう」
3月 岐阜の生物 →「写真家が見た岐阜の両生類と爬虫類～オオサンショウウオの体の秘密に迫る～」

□ 「生涯学習によるまちづくり」の推進役の育成に関わる講座を企画・実施

- 例：11月～12月 「みんなで学ぼう！楽しい講座のつくり方」（コース講座全4回）
12月 「付添犬をご存知ですか？・・・裁判で子どもに寄り添う犬たち」（公開講演会）
1月 「学びの場から考える“誰もが暮らしやすい社会”～『合理的配慮の提供』は何のため？～」
2月 「誰もが『助けて』と言える社会を目指して！～困った時、苦しい時こそお互い様～」
2月 「魅力的な講座づくりのヒントがいっぱい！～令和7年度市民自主講座を振りかえろう～」

□ 講座と連動する展示の開催（展示をきっかけに興味関心をもち、講座の受講につながる工夫）

- 例：1月 ハートフルフェスタ2026 移動水族館「小さな水族館 びわこベース」
→株式会社フロッグベースの協力のもと、岐阜に生息する水棲生物を展示した。
実際にカエルに触れることができるコーナーも設けた。
1～3月 『写真家が見た岐阜の両生類と爬虫類～オオサンショウウオの体の秘密に迫る～』写真展
→株式会社フロッグベースの協力のもと、写真家 関慎太郎 氏の写真を展示した。

□ 関係機関・団体との相乗効果による情報発信および館内のにぎわい創出

- 例：平和資料室と連携した展示
岐阜市民文化祭と連携した展示・ダンスイベント
埋蔵文化財調査事務所と連携した展示
岐阜市少年自然の家と連携した展示
岐阜市ぎふ魅力づくり推進部文化財保護課と連携した説明会会場の設置
岐阜県華道連盟と連携したいけばな展
JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会と連携した花飾りの展示・花育イベント

□ 「まちづくり」に関わる事業のサテライト会場設置

- 例：3月 「令和7年度史跡・岐阜城跡・鷺山市場遺跡発掘調査オンライン説明会」
ハートフルスクエアGサテライト会場

□ 過去に開催した講座のストリーミング配信（オンデマンド講座）

- 市民が自身のタイミングで学習に臨めるよう取り組んだ。
3月開始 「8月開催 おはなしライブ ミライへ伝えたいぎふの記憶～終戦80年によせて～」

□ “市民活動ルーム”運営方法の見直し

- 岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」登録団体の活動スペースとして当館に設けている“市民活動ルーム”の運営方法を大幅に見直すことで、利用しやすい環境を整えた。

今期の取組み
に対する評価

・生涯学習へのきっかけと現代的課題・地域課題の解決に向けた学習機会の充実

講座事業において、学習機会の充実のため、高度な数学知識を用いた「立体錯視」や、岐阜の「水棲生物」を題材に実施することで、市民に多様な学習機会を提供し、高い満足度を得ることができた。また、講座に合わせて展示を企画・実施すると共に、ICT活用の一環として、上半期に実施した一部講座をストリーミング配信をおこなうことで、市民が自身のタイミングで学習に臨めるよう取り組んだ。

・ハートフルレクチャー

「エッ！なにこれ？どうなってるの！？～数学で創る立体錯視のアートな世界～」

数学を用いて立体錯視の作品を創造する講師から、錯視の起きる仕組みを学ぶとともに、アートとしての立体錯視の魅力に触れる機会を提供した。

「写真家が見た岐阜の両生類と爬虫類～オオサンショウウオの体の秘密に迫る～」

岐阜の水域に生息する「水棲生物」や、特別天然記念物であるオオサンショウウオの生態について学ぶ機会を提供した。

・ストリーミング配信(オンデマンド講座)

「おはなライブ ミライへ伝えたいぎふの記憶～終戦80年によせて～」(R7上半期実施講座)

「終戦80年」というタイミングに合わせて実施した講座のストリーミング配信を行った。

[生涯学習センターホームページ掲載内容]

<https://gikyobun.or.jp/heartful/shogaigakushu/kouza/2026/03/80.html>

・各種団体との連携講座

近隣の大学や企業など3団体と連携した講座を実施した。

- ・岐阜市立女子短期大学との連携:「緑と健康～身近な室内空間の植物による癒し～」
- ・平成医療短期大学との連携:「心臓にやさしい運動法～いつまでも動ける体を目指して～」
- ・UCCジャパン株式会社との連携:「楽しく学んで、コーヒーにひたろう」

・パソコン講座(第3期・第4期)

パソコン技術を習得した市民による「岐阜ITコラボレーター会」と協働でパソコン講座(12講座84回)を実施。その他にも個別の質問に応じる「IT相談会」を2回実施。

・地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の育成

・市民自主講座の開講支援

令和7年度は47名の市民講師が講座を開講し、そのうち19講座が開講。9月～2月にかけて延べ93回で953名が参加した。講座終了後にサークル化へ繋げた講師や岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」へ登録をした講師もあり、市民講師の育成と市民活動の発展に寄与した。(R6年度 23講座開講延べ110回で1,283名参加)

・市民講師養成講座

「みんなで学ぼう！楽しい講座のつくり方」(コース講座全4回)

ワークショップ形式を取り入れた実践的な内容とした。修了者には、地域で活躍できるよう市民自主講座の開講や岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」への講師登録を案内し、学んだ内容を生かす場を提供した。

・市民講師ステップアップ講座

「学びの場から考える“誰もが暮らしやすい社会”～『合理的配慮の提供』は何のため？～

あらゆる人々が暮らしやすいまちづくり作りについて考え、学べる機会を提供した。

「魅力的な講座づくりのヒントがいっぱい！～令和7年度市民自主講座を振り返ろう～」

3名の講師から開講事例を学ぶとともに、参加者同士で交流を図ることができる場を提供した。

・ボランティア講座

「誰もが『助けて』と言える社会を目指して！～困った時、苦しい時こそお互い様～」

支援する側・される側という立場を超えて、支援のあり方について考える機会を提供した。

・生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信

・「ハートフルフェスタ2026」

岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」に登録している団体に、日頃の活動や成果を紹介する場として参加を呼びかけ、ステージ発表30団体、展示16団体、体験ブース14団体が参加した。今年度は、館内フリーや段ボール迷路のほか、移動水族館(小さな水族館びわこベース)など新たに講座と連動した体験型の展示企画を設け、子どもから大人まで楽しめる催しをハートフルスクエアG全館一体となって実施し、各施設の周知と利用促進に繋げた。

・にぎわい創出事業

展示「第75回 岐阜県華道連盟 いけ花展」

岐阜県華道連盟に加盟する流派による多様なスタイルのいけばなを展示した。

第38回岐阜市民芸術祭 洋舞の部「GIFUダンスフェスティバル2025」イベント(2回実施)

「GIFUダンスフェスティバル2025」開催の周知を図った。

JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会「花で彩るクリスマス」

JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会の主催事業として、岐阜駅周辺の5箇所で開催した。ハートフルスクエアGでは、交流サロンにおいて、花飾りの展示および花育イベントを開催し、駅周辺のにぎわい創出を図った。

写真展「写真家が見た岐阜の両生類と爬虫類～オオサンショウウオの体の秘密に迫る～」

講座(ハートフルレクチャー)と連動し、自然写真家関慎太郎氏が撮影した写真を展示した。

令和7年度 史跡・岐阜城跡・鷺山市市場遺跡発掘調査オンライン説明会

ハートフルスクエアGサテライト会場

岐阜駅に隣接した施設という当館の立地を生かし、リスケリング・リカレント教育の推進のため「令和7年度 史跡・岐阜城跡・鷺山市市場遺跡発掘調査オンライン説明会」のサテライト会場を設置した。

・インターネット等を利用した情報発信・情報提供

岐阜市公式LINEトーク配信を通じて、ハートフルフェスタの情報発信・情報提供に努めた。

・生涯学習・ボランティア活動に関する相談及び活動支援

・岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」を運営し、市民に対して活動しているサークルや市民活動団体、市民講師の情報を公開し、生涯学習やボランティアなどの情報発信に努めた。

・岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」登録団体の活動スペースとして当館に設けている“市民活動ルーム”の運営方法を大幅に見直し、利用時間の拡大やロッカー貸出し方法の変更等を行い、各団体の活動がより活発になるようサポート体制を整えた。

・生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、きめ細やかな対応に心がけ、年間のコーディネート件数は昨年度比101.4%(148件→150件)に増加した。

・「生涯学習・ボランティア通信誌」vol.101、vol.102を発行し、「ボランティア情報」や「ボランティア活動レポート」を充実することで、地域で活躍するボランティアの情報を広く共有した。

・社会貢献活動をしている個人を取材し、広報ぎふボランティア通信欄で紹介することで、地域の社会貢献や福祉活動への関心を高めた。(下半期 6名紹介)

・生涯学習・ボランティア相談担当職員のスキルアップのため、新たに職員1名がボランティアコーディネーション2級を取得した。また2月に開催された全国ボランティアコーディネーター研究会(愛知)、市社会福祉協議会主催 災害ボランティアセンター立上げ訓練に参加するなど、業務に関わる研修や講座に積極的に参加することで、職員資質向上と業務の拡充を図った。

・他都市からの視察を受け、岐阜市の生涯学習拠点施設としての事業運営について説明をするともに、抱える課題などの意見交換を行った。

◇文化振興係

・岐阜市民文化祭の開催

岐阜市民文化祭では、芸術祭、文芸祭、美術展の3つの事業が、それぞれの特徴を生かしつつも連携しながら事業を展開した。また、今期においては「市民文化祭としての認知度向上」「DX化の推進による業務の効率化」の2点を各事業共通の課題に挙げ、上半期より継続的に取り組んだ。

□ 市民文化祭としての認知度向上

- ・各事業の開催に向けて、上半期よりハートフルスクエアGを始め市内各所で実施している市民文化祭全体でのPR展示の拡充と、PR動画の情報更新を行った。
- ・各事業の開催時においても、多様な場面、事業内容に応じた方法で、市民文化祭全体のPRに積極的に取り組んだ。
 - ◎各事業の会場において、来場者の目に留まる場所に市民文化祭各事業のポスターやチラシを設置し、市民文化祭として一体的なPRを実施した。
 - ◎文芸祭及び美術展覧会の開催会場において、開催期間中に市民文化祭全体のPR動画を上映し、市民文化祭としての事業PRを強化した。
- ・各事業終了後においても、ハートフルフェスタ2026(1月開催)で今年度の事業風景の写真を掲示するなど、通年でのPRを行うことで市民文化祭全体の認知度向上に努めた。

□ DX化推進による業務の効率化

- ・市民文化祭全体において、部会メンバー等への連絡にメールやLINEを活用し更なるDX化に努めるとともに、各事業の事業形態、実施状況に応じた形でDX化推進による業務の効率化に積極的に取り組んだ。
 - ◎芸術祭では、昨年度より一部部会で運用を開始したLINEオープンチャット(非公開)について、活用を強化した。会議資料などの事前共有や事後報告等に活用し、会議回数の削減や迅速な対応に繋がった。
 - ◎文芸祭及び美術展覧会の開催会場において、WebアンケートのQRコードの看板を設置することでDX化を推進。集計業務の効率化を図った。
 - ◎芸術祭においても、洋楽の部と演劇の部の各公演でWebアンケートも取り入れ、集計業務の効率化を図った。

岐阜市民芸術祭

邦楽・邦舞・洋楽・洋舞・演劇の5部門35回の舞台公演を実施。5部門の合計で、出演者667名、入場者数3,844名。

- ・洋舞の部では、本公演のPRのため洋舞部会に所属する2団体が、ハートフルスクエアG交流サロンでそれぞれイベントを開催した。
- ・コロナ以降行っていなかった文化会館(文化センター・ぎふしんフォーラム)でのチケット委託販売を再開し、各公演チケットの販売促進を図った。(販売実績:洋楽5枚、邦舞11枚、洋舞6枚)

岐阜市文芸祭

一般の部:短歌・児童文学・現代史・歌詞・短歌・俳句・川柳・連句・狂俳の9部門に1,365名2,891点の応募があり、366点の入賞・入選作品を選出。作品展を11月18日～24日に行い、4,803名が来場。

小・中学生の部:創作・詩・短歌・俳句・川柳・狂俳の6部門に4,760名4,760点の応募があり、299点の入賞・入選作品を選出。作品展を2月5日～11日に行い、2,176名が来場。

- ・一般の部、小・中学生の部とともに、作品展・表彰式・講評会の会場を“ハートフルスクエアG”から“みんなの森ぎふメディアコスモス”に移して開催したことで、例年と比べて若い世代に関心を持ってもらう機会となった。
- ・会場変更の周知と事業内容の拡充を図るため下記の点に取り組んだことで、一般の部、小・中学生の部ともにより多くの市民に楽しんでもらえる作品展・表彰式として実施することができた。
 - ◎作品展・表彰式・講評会の期間前からハートフルスクエアGでは開催案内ポスターや上位三賞の作品を展示し、会場変更と事業の周知に努めた。特に一般の部の展示では、審査員の講評文を併せて掲示することで、作品展との差別化を図った。
 - ◎市内公共施設において開催案内ポスターや上位三賞の作品を展示し、作品展のPRを行った。(一般:コミュニティセンター8館、小・中:ドリームシアター岐阜、青少年会館5館) 加えて小・中学生の部では、ハートフルフェスタ2026での企画展示や、市庁舎1階でも同様に展示し、事業の周知に努めた。
 - ◎表彰式において、賞状を授与するタイミングに合わせて受賞作品をスクリーンに投影するなど演出を工夫することで、受賞者と来場者の満足度を高めるよう努めた。
 - ◎小・中学生の部では、岐阜市公式LINEトーク配信を通じて、作品展・表彰式の情報発信・情報提供に努めた。

岐阜市美術展覧会

日本画・洋画・彫刻・工芸・書・写真・グラフィックデザインの7部門に386名475点の出品があり、324点の入賞・入選作品を選出。展覧会を10月4日～13日に行い、2,657名が来場。

- ・開場式において、催し広場前にスクリーンを設置し、市展賞受賞者の作品を紹介する動画を上映するなど演出を工夫し、受賞者、来場者双方の満足度を高めるよう努めた。
- ・展覧会開始の案内をHP及びInstagramで配信し(Instagramでは3日連続で配信)、来場者数の増加に努めた。(Instagramの閲覧回数はR6:300回→R7:455回の約1.5倍に増加)
- ・会場に来られない方にも展覧会を楽しんでもらえるように、令和4年度より優秀作品や360度カメラによる展示風景をFacebookで公開している。今年度より、来場者に配布する出品者名簿にもFacebookのQRコードを記載し、より多くの方に見てもらえるよう努めた。

・岐阜市芸術文化協会との連携

岐阜市の芸術文化の創造・発展・保存などへの寄与を目的とする岐阜市芸術文化協会と連携し、各種事業を開催。市民の芸術文化活動の促進及び芸術文化団体との情報交流により、新たな協働による芸術文化の振興に取り組んだ。またリレートーク実施にあたっては、岐阜市芸術文化協会と連携し、市民文化祭SNSでも情報を発信するとともに、芸術祭や美術展の部会委員への告知など広報の強化に努めた。

・リレートーク

- 「岐阜市のまちづくりについて」(2月)
100回記念公演として、みんなの森ぎふメディアコスモス みんなのホールで開催。定員200名の応募に対し、200名満席での実施となった。
前半に第1回目に演奏を行ったグループしんせんによる記念コンサートを鑑賞。後半では、岐阜市芸術文化協会の名誉会長である市長より、文化の観点を中心に、今後の岐阜市のまちづくりについて学んだ。

・まちかどコンサート

- 「第2回まちかどコンサート」(12月)
協会会員の大正琴一位会、木方今日子ダンスアート空間、箏(こと)きらら、フラメンコ・ダンス・フラメンカ、長良西オカリナクラブによる演奏会を開催した。来場者は延べ653人となり、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。(昨年平均520人)

「第3回まちかどコンサート」(3月)

協会会員の岐阜正紋社、プリマムジカ岐阜、ダンス・ハバナ、岐阜雅の会、女声合唱団ヴォーチェ・マルガリータによる演奏会を開催した。来場者は延べ680人となり、当館および岐阜駅周辺のにぎわいを創出した。(昨年平均520人)

・「市文協ニュース」の発行

11月と3月に発行。協会の活動を紹介するとともに市民文化祭等の多様な芸術文化に関する情報を掲載し、広く市民に情報提供を行った。

	<p>・ 自主企画事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化事業助成 令和7年度では12件1,190,560円(内、下期で9件775,840円)の助成を実施した。また、既存の文化団体・個人の継続活動や、新しい団体の活動により、次年度上半期の助成申請は6件を受付し、5件の助成予定である。 ・ 芸術文化奨励賞 令和7年度の岐阜市芸術文化奨励賞の表彰式を、事業協力を得ている岐阜信用金庫が令和7年4月にオープンしたG's Dreamで実施。スクリーンを利用し、受賞者の紹介映像の上映や作品紹介を行い、受賞者、参加者の満足度を高めるよう努めた。 (昨年度まで岐阜信用金庫本店ロビーで行っていた前年度受賞者の作品展もG's Dreamで実施) ・事業のPR及び受賞者の紹介のため、ハートフルフェスタ2026の全期間(1月12日～25日)を通して、ハートフルスクエア-Gのキュービックギャラリーにて前年度受賞者の作品展示を行った。 ・引き続き、令和8年度下半期に加藤栄三・東一記念美術館にて開催を予定している「岐阜市芸術文化奨励賞30周年記念展」の準備を、施設・関係機関との連携を図りながら進めた。
<p>今期の取組み に対する評価</p>	<p>● 女性センター</p> <p>指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき事業を企画・実施。必要に応じて、所管課と協議を行いながら、岐阜市における男女共同参画社会の啓発・推進に努めた。 女性センターの評価項目については、事業計画書の内容どおり履行している。 なお、女性センター主催講座は「長良川大学」講座として実施した。</p> <p>□ 男女共同参画に関する現代的課題の解決に向けた講座等の学習機会の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「女性の社会参画」 → 小さな一歩が暮らしを変える！～今日から始めるわたしの社会参画～(3回コース) ・「男性の生きづらさ」 → 男性らしさと生きづらさ～相談現場から叶えてきたもの～ ・「性の多様性」 → もし家族がLGBTQだったらどうする？～トランスジェンダーの子を持つ母として願うこと～ <p>□ 情報の収集・提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぎふし男女共同参画情報紙「織」の企画・編集と発行 →岐阜市立女子短期大学の学生と20～70代の男女7名による座談会を通し、価値観の多様性を学ぶと共に情報紙の企画・編集と発行を行った。 ・InstagramやX(旧ツイッター)におけるタイムリーな情報発信(248件投稿) →複数のユーザーによるブックマーク保存が見受けられた。 ・ホームページに「ハートフルネット例会登録団体」の活動紹介ページを新たに作成 →課題である「次世代の会員獲得」に向けた取り組みを行った。 ・複合施設の特徴を活かした情報発信 →交流サロン、体育ルーム壁面、図書館分館 ・関連機関との連携による情報発信 →危機管理課、人権啓発センター、保健予防課、健康づくり課、地域保健課と随時連携 <p>□ 男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハートフルネット例会会員団体との共催(つながり創出サロンの開催) →高齢化社会のなかで老いと防災に向き合う ・危機管理課 → 「防災備蓄資機材」の展示 ・人権啓発センター → 「人権尊重推進強調月間」に関する展示と交流サロンでのDVD啓発映像放映 ・ハートフルフェスタ参加団体との交流により、大学生や若年層への利用参加者拡大の裾野を広げることができた。 →岐阜市消防音楽隊の演奏 →岐阜市立女子短期大学ダンスサークル →岐阜大学防災サークルたすく →岐阜大学看護学部ピアカウンセリング同好会 →危機管理課、人権啓発センター →岐阜県男女共同参画・女性の活躍支援センター ・保健所保健予防課 → 「プレコンセプションケア」に関連する展示 ・保健所地域保健課 → 「自殺対策強化月間」に関する展示とリーフレット配架 ・保健所健康づくり課 → 「ウコクテメクアオルトで健康づくり」と「食を通じたフレイル予防」の関連する展示 ・岐阜市立女子短期大学学生と20～70代男女7名との座談会の実施 <p>・ 学習機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座 小さな一歩が暮らしを変える！～今日から始めるわたしの社会参画～(3回コース) 「女性の社会参画」をテーマに、社会の仕組みを知り、どんなことにおいても自分事として捉え行動できるよう意思決定の場を提供した。大学生～70代までという幅広い世代層の参加があり、受講者からは「世代を越えたディスカッションに元気をもらった」、「これからの社会に希望が持てた」と等という意見があったことから、現役世代と次世代による活発な意見を繋ぐ貴重な機会となった。 ・ 男女共同参画セミナー 男性らしさと生きづらさ～相談現場からみえてきたもの～ 現代社会においても、男女ともに「かくあるべし」という思い込みが根深く残っており、男性の生きづらさに繋がっているという現状があることから、アンコンシャス・バイアスの背景を探り、心が軽くなる考え方について学ぶセミナーを実施した。応募率は約120%と大変反響があったことから、テーマへの関心の高さを窺うことができた。当日の受講者男女比は5:5、またその内男性参加者の約6割が初めての参加であったことから、男性の新規層を大幅に獲得することができた。 ・ 心とからだ・性の健康関連セミナー もし家族がLGBTQだったらどうする？～トランスジェンダーの子を持つ母として願うこと～ 家族になかなか打ち明けられない、自分らしく生きられないという当事者の思いや、どのように当事者を支えていくのかについて考える上で、身近にロールモデルがない等の課題が見えてきたことから今回のセミナーを企画した。申込みについては10～80代までと年代層も多様であったことに加え、岐阜市外(県外も含む)からも多数の申込みが見受けられたことから、テーマに対する関心の高さを窺うことができた。また、岐阜大学ピアカウンセリング同好会から学生有志が参加される等、若年層への理解も深まり、セミナー満足度は100%と大変好評であった。

・ 交流機能

・ ハートフルネットぎふ例会

男女共同参画についての理解を深めていくため、原則毎月第2木曜日に、女性センターを利用する20の市民団体が集い、学習会や団体活動紹介などを行う機会を提供した。改めて、例会の目的とあるべき姿を会員間で共有するとともに、団体の活動をより多くの方に周知していただくことを目的とし、ハートフルフェスタ2026への積極的な参加に向けて交流を図った。また、メンバーの意向により「**子どもの性暴力と性犯罪**」への理解促進を目指し、**岐阜県警察本部生活安全部少年課**から講師を招き、学習会を行った。岐阜県内の事例案件から現状を学び、質疑応答では、講師と会員間において活発な意見交流を行うことができた。

・ 男女共同参画つながり創出サロン

テーマ：**～高齢化社会のなかで老いと防災に向き合う～**

ハートフルネット会員団体である清流の国ぎふ女性防災士会と共催し、講演会を開催した。受講者からは「『知らない』ことが命取りになると痛感した」等の感想が寄せられ、**遠距離介護の当事者**である講師から、それぞれの立場のおかれた状況での、防災や男女共同参画について、現状を見つめ直す重要性についてを学んだ。

・ ハートフルフェスタ2026

岐阜大学や岐阜市立女子短期大学などの協力を得て、「性に関わるシチュエーションクイズ」やダンス発表など親子で楽しめるコーナー等を開催したことにより、大学生との交流による裾野の拡大につながった。また、女性センター企画として「**プロカメラマンによる思い出撮影コーナー**」を実施したところ、**想定約2.5倍(2日間)の集客**があり、**岐阜市女性センターの認知度アップに大いに貢献**することができた。**フェスタ参加者数は昨年度比(3,674→4,192人)14%増**となった。

・ 情報機能

・ 市民への情報発信

インスタグラムやX(旧ツイッター)において**タイムリーな情報発信**を心掛けた。毎月の窓口開設日や専門相談日を掲載したカレンダー画像を作成し掲載に努め、継続してセンターの窓口に専門相談の空き情報を掲載したホワイトボードを掲示するなど、タイムリーに有益な情報提供を行うことができた。更なるハートフルフェスタの利用者促進を図るため、**団体ごとにブース・発表・展示の紹介ページを作成し、SNSでの周知を強化**したところ、インスタグラムにおいては**複数のユーザーに投稿を保存(ブックマーク)**される等、来場者増加に繋げることができた。また、女性センターHPへ**ハートフルネット例会登録団体の活動紹介ページを新たに作成し、全14団体の活動について広く情報発信**を行うとともに、課題である「**次世代の会員獲得**」に向けて積極的に取り組むことができた。

・ 男女共同参画情報紙『織』の発行

岐阜市立女子短期大学の学生が主体となり、学生ならではの視点でテーマを決め、企画編集を行った。今回は、「**昭和・平成・令和 世代を超えた語り合い～多様化する私たちの価値観～**」をテーマに、男女共同参画の視点から各世代が自分らしい価値観について語り合うため、**20～70代の男女7名と座談会**を行った。異なる経験を持つ参加者同士が、対話を通してそれぞれに**様々な価値観があることに気づき、考えを深める様子**が窺えた。

・ 複合施設の特徴を生かした情報発信

各イベントに合わせた啓発活動として、館内への展示を行うとともに、図書館分館内において関連図書の特設コーナーを設けるなど、**ハートフルスクエアGの特徴を生かしながら、より広く多角的な情報発信**を行った。

・ 関連機関との連携による情報発信

・ 「女性に対する暴力をなくす運動」及び「児童虐待防止推進」の展示(11月)

1階壁面に、11月12～25日の**女性に対する暴力をなくす運動(パープルリボン)**期間に合わせた展示、また、児童虐待防止推進月間(11月)に合わせた**児童虐待防止推進キャンペーン(オレンジリボン)**に関する展示を実施し、幅広い世代に向けて啓発を行うことができた。

・ 岐阜市人権尊重推進強調月間の展示(11月)

岐阜市人権センターと連携し、2階交流サロン・南壁面を利用して、**岐阜市人権尊重推進強調月間**「さあ、あつたかは一とのまちづくり、じよ！」等に関するパネル展示とDVDによる説明映像の掲示を約1か月間継続的に行った。

・ 「国際女性デー」及び「女性の健康週間」の展示(2、3月)

3月8日の**国際女性デー**と3月1～8日の**女性の健康週間**に合わせて関連パネルの展示を行った。併せて、**保健所保健予防課と連携し、「プレコンセプションケア」に関する啓発展示**を開催し、利用者に向けて正しい知識を提供することができた。(体育ルーム壁面にて、**展示継続中**)

・ 「自殺対策強化月間」の展示(2、3月)

保健所地域保健課と連携し、1階壁面・2階キュービック等を利用して、**自殺対策強化月間**「あなたはひとりじゃない、その気持ち聴かせてください」に関する啓発展示を行った。キュービック横に、関連するリーフレットやチラシを数種類配架したところ、1週間も経たないうちに在庫切れとなるなど、市民から大変反響を得ることができた。

・ 相談機能

・ 相談業務の実施

・ 電話相談

必要に応じて、「女性と社会のつながりサポート事業」と連携し、より専門的な支援先へ繋げることができている。相談業務に従事する職員の基礎知識の向上を目的とし、各種講座に積極的に参加できるよう配慮した。

職員のメンタルを整えるため、上期に引き続き、外部講師(精神保健福祉士)によるワークを含めたスーパーバイザーを実施した。

・ 専門相談

更なる利用率促進を図るため、館内に設置してある**専門相談の案内看板(全4か所)**に空き情報を掲載し、積極的な情報発信を行ったことから、前年度比(267件→290件)と相談件数が増加した。

・ その他

・ 職員の専門性向上のための研修

⇒ 男女共同参画の推進を目的とした国内最大級の全国組織である「**全国女性会議2025権原**」に職員2名が参加した。現代的課題の中で岐阜市の実情に沿った講演会、分科会に参加し、また、他都市の施設職員とも交流ができる機会となった。

⇒ 職員のスキルアップと事業運営の参考とするため、他都市の類似施設が開催するオンライン講座を積極的に拝聴する機会を設けた。

前回までの意見の
取組み状況

●所管課の意見

〈施設管理〉

- 利用者アンケートを毎月実施し、要望等に基づいて、利用者目線で改善点の検討を行っており、評価できる。

⇒引き続き、常に利用者目線で改善点の検討を行い、利用しやすい環境整備に努めた。

- 施設の日常点検及び休館日の定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために実施されており、高いレベルで対応できていると思われる。

⇒引き続き、利用者の安全性とサービス向上のため、日常点検、定期点検を確実に実施した。

- 事故により施設駐車場が長期にわたり使用できなくなる事案に対して、利用者への説明や講師駐車場への柔軟な対応などを実施し、また施設内における迷惑行為等をハートフルスクエアG各施設や、警察署とも情報共有し、リスク管理の充実が図られている。今後も、組織として対応できるよう連携体制の構築に努められたい。

⇒令和7年2月に発生した転落事故や令和7年7月に発生した駐車場入口での衝突事故を受け、今期は事故発生時の初期対応の中で**応急処置の対応を強化**するため、館内で発生した事故・事件の情報集約の役割をもつ生涯学習センター職員を対象に、**職員研修「普通救命講習」を実施**した。
その他にも、全館で避難訓練・緊急地震速報対応訓練を実施し、緊急時における迅速・確かな応急処置・緊急連絡・緊急要請を行うための役割や対応について再確認を行い、いざという時に対応できる体制を整えた。

⇒館内で発生した不審情報や迷惑行為等をハートフルスクエアG全4施設で共有し、防犯カメラでの監視や警備員や職員の巡回に加え、警察とも連携を図ることで防犯対策を強化した。

〈生涯学習業務〉

- 生涯学習によるまちづくり進行役の育成や誰もが生涯活躍できる社会の構築を目指し、話題性のあるテーマや季節に合わせた講座事業を実施し、講座のサテライト会場の設置にも取り組むなど、市民のニーズに常に対応する姿勢が見られる。

⇒引き続き、学びの機会の拡充のため、世間や生涯学習で注目されるテーマを題材とした講座を企画実施するだけでなく、講座と連動した企画展示を実施したり、関係機関や団体と連携した展示やステージ発表など館内のにぎわいの創出に努めた。

〈文化振興業務〉

- 市民文化祭業務全体で参加者の裾野を広げるための工夫がなされており、それに実績が伴っていることを評価する。
今後も情報発信の工夫に加え、市や各所と連携しながら、より良い事業となるよう検討・改善し、長い歴史のある市民文化祭をさらに盛り上げていただきたい。

⇒引き続き裾野を広げるため、市内施設の協力も得て、展示等の広報活動を行うとともに、市民文化祭の相互の事業間において、広報を強化し、より効果的な情報発信に取り組んだ。また、所管課と連携し、文芸祭小中学生の部のPRとして、市庁舎1階で展示を行った。

⇒事業終了後に次年度に向け事業の周知を図るため、事業内容がわかる写真等を使用した展示を継続して行った。

〈女性センター〉

- 「わたしも輝く！女性のエンパワーメント講座」では20代から70代という幅広い年代からの受講者が参加され、講座内でのワークショップでも年代を超えてコミュニケーションを深めることができ、受講後のアンケートでは満足度が100%であったことは評価できる。市民の方のニーズを的確につかむことができていると思われる。

⇒引き続き、学びの機会の拡充のため、相談内容や、受講者のアンケート結果から、必要とされるテーマやそれに沿った講師の選択ができるよう世の中の状況に注視していきたい。

- SNSによるタイムリーな情報発信をする中で、窓口開設日を掲載した毎月のカレンダー画像を作成・掲載し、更なる利用率促進を図るため、館内に設置してある専門相談の案内看板(全4箇所)に加え、今期より女性センター窓口付近に時間ごとの空き情報を記載したホワイトボードを設置するなどの積極的な情報発信は評価できる。

⇒令和3年9月より、あんしんつながりステーションの開設を行っているが、訪れた相談者に寄り添いながら話を聴く支援員を配置し、何らかの支援が必要と判断された要支援者にはNPOの相談員による個別相談を実施している。
個々の相談内容から、その緊急度、深刻度により、迅速な対応が必要とされた時には要支援者に同行し、適切な支援機関へつなぐことができた。また、状況に応じて、カウンセリングを行った。

- 「女性と社会のつながりサポート事業」では、昨年に引き続き通信制に通う高校生や大学生といった若年層の相談者が多いことから、メールぎふとの連携や、学校へのPRへの意欲など、相談者の傾向に沿って対応されている。また、精神疾患を抱えた相談者が多いことから、そういった相談者に対応するための研修の受講や、職員側のメンタル面のケアについても配慮がなされている。

⇒令和3年9月より、あんしんつながりステーションの開設を行っているが、訪れた相談者に寄り添い話を聴く支援員を配置し、何らかの支援が必要と判断された要支援者にはNPOの相談員による個別相談を実施している。
個々の相談内容から、その緊急度、深刻度により、迅速な対応が必要とされた時には要支援者に同行し、適切な支援機関へつなぐことができた。また、状況に応じて、カウンセリングを行った。

⇒令和7年度の相談者のうち、精神疾患を抱え、精神科、心療内科で受診中の方の相談が全体の50%強を占め、2人に1人はメンタル不調を訴えている。令和6年度の28%と比較すると倍増している。引き続き、職員のスキルアップと関係機関の連携に努め、職員側にもスーパーバイザーによるメンタルケアを行っていく。

●指定管理者評価委員会の意見

〈生涯学習業務〉

- オンデマンドや、オンライン等、今後もICTの拡大を推進していただきたい。文部科学省では、生涯学習の中で、リスニングを重要視している。これらの状況を踏まえて、内容を考えていくことも必要ではないか。

⇒今期は、過去の講座のストーリーミング配信(オンデマンド講座)の実施と、リスニング・リカレント教育の促進のためオンライン説明会のサテライト会場の設置を行うなど、ICT活用を図った。

・ストーリーミング配信(オンデマンド講座)

3月開始 「おはなライブ ミライへ伝えたいぎふの記憶～終戦80年によせて～」(R7年度8月開催講座)

・リスニング・リカレント教育の促進

3月 「令和7年度史跡・岐阜城跡・鷺山市場遺跡発掘調査オンライン説明会」

ハートフルスクエアGサテライト会場の設置

⇒岐阜市美術展覧会において、会場に来られない方にも展覧会を楽しんでもらえるように、令和4年度より優秀作品や360度カメラによる展示風景をFacebookで公開している。今年度より、来場者に配布する**出品者名簿にもFacebookのQRコードを記載**し、より多くの方に見てもらえるよう努めた。

〈女性センター〉

- 男女共同参画推進業務の相談機能において、外出が難しい方、メールではなかなかうまく伝えきれない方がいらっしやと思うので、手法の一つとして、オンライン相談があると良い。

⇒オンライン相談のメリットは、遠隔地でも、PC、スマホ等により顔を見ながら相談できることだと考えられる。

女性センターでの相談は傾聴を基本としており、従来から行っているフリーダイヤルの「電話相談」において、主訴の他、相談者の最低限の情報として、市内在住在勤在学、年代を聞き取るようにしているが、それすら拒む相談者が多い現状である。また、繋ぐ必要があると思われる方には、次の段階として、「専門相談(対面・電話本人の選択)」や「あんしんつながりステーション」への来訪を促しているが、顔の見える相談にはなかなか踏み切れない方が見受けられる。

⇒こうした状況の中で、相談者や市民から「オンライン相談」の要望は特にないが、類似施設の状況を調査研究し、相談業務のあり方を研究していく。

	<p>(共通)</p> <ul style="list-style-type: none"> 岐阜駅周辺に大学移転の話があるが、図書館と、生涯学習施設及び大学は、関連性が高く、密接に連携をしていくことが非常に大事である。市としても、近隣の生涯学習施設と連携を図っていくような準備を推進していただきたい。 ⇒ 生涯学習施設に加え、関係機関・団体と連携を図り、講座の運営や展示等において積極的に連携を図った。今後も岐阜市の方針のもと連携を強化していきたい。
<p>今後の取り組み</p>	<p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 生涯学習拠点施設としての機能を活かしながら「個人の需要を充足する生涯学習」だけでなく「現代的課題に対応する生涯学習講座」を企画し事業の充実を図る。R8年度上半期でも、「生物の進化」や「自治会」、「睡眠」「地域の自然」といった世間や生涯学習で注目されるテーマも含め、講座を企画している。 生涯学習・ボランティア活動に係る相談及び活動支援において、団体や個人の声に耳を傾け、活動の充実に繋がる情報の提供に努める。 継続して受託している市民活動交流センターでの相談業務との情報共有をはじめ、交流センターと多様な面で連携を深めることで、中間支援組織としての機能の拡充に努める。また、岐阜市地域活動情報システム「まなバンク」を活用して、地域人材の活性化に努める。 生涯学習センターが推進役となり、市民団体、関係公共機関、企業などと連携し、地域のまちづくりに係わる事業を積極的に企画・実施する。 研修や講座に積極的に参加するなど職員一人一人の資質向上を図り、生涯学習・ボランティア相談業務および活動支援の充実に努める。 地域づくり、まちづくりの推進役となる人材を育成するため、「市民自主講座」を実施し、市民がこれまで培ってきた知識や技術、能力を活かして活動する講師の養成と活躍機会の充実を図る。 より多くの市民が講座を受講できるよう、本会場以外にも市内の別施設にサテライト会場を設け、講座のライブ配信を実施する。 SNS、館内展示、各種案内の充実を図り、生涯学習やボランティア活動の周知や魅力増進に努める。 市民文化祭全体において、部会メンバー等への連絡にメールやLINEを活用し、更なるDX化に努める。 岐阜市とイオン株式会社やマーサ21ショッピングセンターとの包括連携協定が締結されたことを生かし、チラシやポスターの設置や、作品展示など新たな層への周知開拓を図る。 文芸祭:昨年度ぎふメディアコスモスでの開催結果を踏まえ、講評会など反省点を改善し、より満足度の高いものになるよう準備を進める。 市と連携し、LINEトーク配信を始めとした積極的なSNSでの配信や、市庁舎1Fエントランスでの展示を通じてこれまで届かなかった層への事業周知を図る。 美術展:例年より会期が早まることから、周知を徹底するとともに、多くの来場者数に繋がるよう、会期中に金公園利用の関係各所を模索し、相互PRに努める。 令和8年度下半期に加藤栄三・東一記念美術館にて開催を予定している「岐阜市芸術文化奨励賞30周年記念展」の準備を、引き続き施設・関係機関との連携を図りながら進めていく。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和8年4月1日から施行された新法「独立行政法人男女共同参画機構法」及び「男女共同参画機構法の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律」への対応を所管課と構築していく。 「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に沿って男女共同参画拠点施設として、男女共同参画社会の実現を目指した事業展開を図る。 「サード・プレイス」(第3の居場所)として、会話を楽しみ、心と身体がリラックスできる時間と空間(居場所)を提供する。 相談機能を生かし、見えてきた女性の現代的課題に焦点をあてた学習事業の展開を図る。

<p>●所管課の意見</p> <p>生涯学習センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域課題の解決に向けた題材から、身近で話題性のある題材まで、幅広い講座事業を実施し、市民のニーズに常に対応する姿勢が見られる。多くの講座で定員以上の応募があり、講座の企画・提案等が評価できる。 市民講師ステップアップ講座や市民自主講座開講支援事業などにより、きめ細かな人材養成に努めている。 光熱水費等が高騰する中、許容される範囲での節約に努めている。 施設の日常点検及び定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために努めている。 施設のトラブル等に対して、迅速かつ適切な対応ができており、施設管理として評価できる。 <p>女性センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 相談機能から見えてきた男女共同参画に関する現代的な課題から講座のテーマ設定をしていく中で、男女共同参画セミナーでは、視点を変えて男性の生きづらさをテーマにしたことから、男性の新規層を大幅に獲得することができた。 InstagramやXにおいてタイムリーな情報発信をするなど、岐阜市の関連部署との連携による展示を積極的にに行い、情報発信の強化に努めることができた。 「女性と社会のつながりサポート事業」では令和7年度の相談者のうち、精神疾患を抱え、精神科、心療内科で受診中の方の相談が全体の50%強を占め、2人に1人はメンタル不調を訴えていることから、精神疾患を抱える相談者に対応するため職員のスキルアップと関係機関との連携強化に努めるとともに、職員側に対してもメンタルケアを実施されていることは評価できる。 <p>文化振興係</p> <p>文化振興業務は、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が市民及び文化芸術団体との協働により安全・円滑に実施されていた。市民文化祭(芸術祭・文芸祭・美術展)全体としては、美術展覧会と文芸祭の会場においてPR動画を上映したり、市民文化祭の各事業が終了した後も通年で継続的かつ各事業一体的な周知が図られた。「芸術祭」では、洋舞の部の部会団体がPRのためにプレイベントを開催したり、チケット販売箇所を拡大させ、芸術祭に参画する機会を提供したこと、「文芸祭」では、新たな表彰式の形式(会場変更、表彰時や作品掲示の演出変更)で開催したこと、「美術展覧会」では動画上映による演出の工夫やSNSを利用した広報を実施したことなど、来場者の増加に努めたことが評価できる。</p> <p>今後も効果的な情報発信を実施しながら、各種手続きのDX化やより積極的なイベント情報の発信、会場の演出工夫、アンケート結果分析に努めるなど、より多くの人に参加してもらえるような工夫により、長い歴史のある市民文化祭がより充実した内容になることを期待する。</p>

<p>●指定管理者評価委員会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートに二次元QRコードを入れ、携帯電話で容易に回答ができるようにしてはどうでしょうか。 精神疾患の方への対応について、令和7年度より、カウンセリング事業を開始されているが、とても有効な施策だと思います。また、カウンセラー有資格者など、専門的なスキルがある方も採用されており、安心できる。 椅子でなくても卓で出来るようなものなど、和室の利用率が上がる施策が何かできると良い。 ハートフルスクエアGは、学生や若者が、東側に行かない現状があるため、東側に行ってもらような施策を何かできると良い。 女性センター発行の織について。岐阜市立女子短期大学の学生のような若い世代が編集員となり、年代の違う方々と話をしながら、若者が育っていく取り組みは素晴らしい。 若い世代が読んでいる本の作者に、岐阜市文芸祭に応募してみませんかというメッセージをいただいたりすることができれば、読む側だった方が、一歩踏み出してみようきっかけになるのではないかと思います。 アンケートの結果、施設に対する不満も出ており、修繕にもう少し支出してあげても良いのではないかと感じます。
--